

*from Fukuoka to the whole of Japan*  
福岡から全国へ

独立行政法人教職員支援機構  
委嘱事業  
「新たな学びに関する教員の  
資質能力向上のためのプロ  
ジェクト」

# 福岡県立学校「新たな学びプロジェクト」

## 平成30年度報告書

～「新たな学び」を「いつもの学び」へ～

平成31年 3月

福岡県教育委員会



## まえがき

福岡県教育庁教育振興部  
高校教育課長 田中 直喜

平成30年度福岡県立学校「新たな学びプロジェクト」報告書の発刊に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

本県は、平成27年度から、独立行政法人教職員支援機構「新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクト」の推進地域の指定を受け、「福岡県の子どもたちが、伝統と文化に立脚し、高い志や意欲を持つ自立した人間となるよう、他者と協働しながら主体的に価値の創造に挑み、未来を切り拓いていく力を身に付けることができる教育を創造する。」ことを目的に、県内の大学や県教育センター等と連携を図りながら「新たな学びプロジェクト」事業に取り組んでいます。

今年度は、キャッチコピーを『『新たな学び』を『いつもの学び』へ』として、従来の研究推進に加え、研究実践校による地区版実践発表会と、全県立高校によるポスター発表を実施しました。各学校の組織的な授業改善の成果を共有し、参加者が互いに刺激を受け合う良い機会となり、研究や実践内容だけでなく、研究方法や体制の普及についても大きな成果を収めることができました。

こうした本事業の成果は、全国的にも注目を集めるところであり、平成30年だけを見ても「日本教育新聞」「中等教育資料」「月刊高校教育」「週刊教育資料」「VIEW21高校版」「教育福岡」といった教育関係の雑誌等で相次いで特集されました。まさに、福岡県立学校のブランドイメージの一翼を担う取組と言えます。

この報告書は、授業改善の進め方や研究開発校の一年間の実践がまとめられています。本報告書が、各学校における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善と教育活動の充実に寄与できますことを祈念いたします。

最後に、一年間の活動を通して、御指導・御助言・御協力いただきました連携大学のアドバイザーの先生方や関係各位に厚くお礼申し上げます。また、日頃から研究に熱心に取り組み、報告書の作成にも御尽力いただいた各研究開発校の先生方に厚くお礼を申し上げて、発刊の挨拶といたします。

平成31年3月



—目 次—

まえがき

平成 30 年度福岡県立学校「新たな学びプロジェクト」概要 . . . . . 3

プロジェクト実践報告

第 1 章 平成 30 年度 研究実践校実践報告と学習指導案

○小倉東高等学校 「主体的にものごとに関わる生徒を育てる  
～論理的に説明する力を育成する授業改善の研究～」 . . . . . 7

○直方高等学校 「深い学びを誘発する学習手法の工夫」 . . . . . 18

○光陵高等学校 「能動的学習による基礎的・基本的学力の定着のための授業改善」 . . . 34

○朝倉高等学校 「ICTの活用と対話・討論による深い学びの創造」 . . . . . 50

○輝翔館中等教育学校 「ICT機器を活用したアクティブ・ラーニングによる指導法の  
深化と評価法の研究」 . . . . . 60

第 2 章 平成 30 年度地区版実践発表会 展示ポスター . . . . . 74

第 3 章 ふくおかAL通信 ～県立学校の教室から～ (第 13 号～第 24 号、特別号) . . . . . 144

参考書籍集 . . . . . 173



# 平成30年度福岡県立学校「新たな学びプロジェクト」概要

## 1 目的

本事業は、福岡県の子どもたちが、伝統と文化に立脚し、高い志や意欲を持つ自立した人間となるよう、他者と協働しながら主体的に価値の創造に挑み、未来を切り拓いていく力を身に付けることができる学校教育を創造する。

## 2 目標

- (1) これまでの授業実践の蓄積を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」を実現するためにアクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善を推進する。
- (2) アクティブ・ラーニングを実施する環境を整備し、新しい授業法を開発する。その際、学校の特性や状況、日常的な取組及び特別な取組の両面を考慮する。
- (3) アクティブ・ラーニングによって生徒が身に付けた資質・能力の適切な評価方法について研究し、その効果を検証する。

## 3 実施期間

1年間

## 4 事業内容

本事業では、独立行政法人教職員支援機構「新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクト」の研究地域の指定を受け、以下の取組を行う。

### (1) アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善及び評価方法の研究

研究開発の委嘱を受けた学校（以下「研究開発校」という。）においてアクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善及び評価方法について研究・開発を行う。研究開発に当たっては、連携大学の教員等及び福岡県教育センター指導主事等をアドバイザーとし、指導・助言を得ながら実施する。

### (2) アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善及び評価方法の普及

本県の全県立学校でアクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善及び評価方法を取り入れるため、以下のような取組により本事業で得られた成果の普及を図る。

ア 各研究開発校における公開研究授業の実施

イ 各研究開発校の取組を全県立学校に公開する地区版実践発表会の実施

ウ 地区版実践発表会において、各県立学校の実践報告を共有するポスター発表の実施

エ 県教育センターにおいて、各研究開発校の研究成果をまとめた成果物の発行と県立学校への配布

## 5 研究実践校と研究テーマ

- 小倉東高等学校 「主体的なものごとに関わる生徒を育てる  
～論理的に説明する力を育成する授業改善の研究～」





○直方高等学校 「深い学びを誘発する学習手法の工夫」

○光陵高等学校 「能動的学習による基礎的・基本的学力の定着のための授業改善」

○朝倉高等学校 「ICTの活用と対話・討論による深い学びの創造」

○輝翔館中等教育学校 「ICT機器を活用したアクティブラーニングによる指導法の深化と評価法の研究」

## 6 研究協力校

北筑高等学校、折尾高等学校、福岡高等学校、糸島高等学校、朝倉光陽高等学校、田川高等学校

## 7 アドバイザー

福岡教育大学 小泉令三 教授、納富恵子 教授、生田淳一 教授、松尾 剛 准教授

北九州市立大学 見館好隆 教授

九州大学 山田政寛 准教授

九州工業大学 西野和典 教授、近藤秀樹 助教

久留米大学 安永 悟 教授

県教育センター 「新たな学び」チーム指導主事

## 8 平成30年度の主な取組内容

(1) 各研究実践校における研究、研究授業・地区版実践報告会の実施

### 【地区版実践発表会の日程と会場】

平成30年11月29日(木) 輝翔館中等教育学校

12月 3日(月) 直方高等学校

12月 5日(水) 光陵高等学校

12月 6日(木) 小倉東高等学校

12月17日(月) 朝倉高等学校

(2) 各研究協力校における公開研究授業、研修会の実施

(3) 高校教育課または福岡県教育センターが行う各種研修会での成果の普及

(4) 県内各学校でのアクティブ・ラーニングに係る校内研修会への指導主事派遣

(27年度から通算して県立高校・中等教育学校84校、特別支援学校5校に研修講師として派遣)

(5) 広報紙「ふくおかAL通信～県立学校の教室から～」第13～24号、特別号の発行

(6) 30年度報告書(本書)の発行

